

第25回 ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー

SADI 2017

伊勢・南伊勢大会



ホスト 坂部 茂俊（伊勢赤十字病院 感染症内科・循環器内科）

会 期 平成29年6月9日(金)～11日(日)

会 場 6月9日：伊勢赤十字病院多目的ホール「やまだ」

6月10～11日：海ぼうず

挨拶

伊勢赤十字病院 感染症内科・循環器内科 坂部 茂俊

第25回 SADI(SADI2017)は、1日目会場を伊勢赤十字病院（伊勢市）、2-3日目会場を、廃校を利用した研修施設・海ぼうず（度会郡南伊勢町相賀浦）として開催いたします。三重県の過去10年間における日本紅斑熱患者発生件数は全都道府県中第1位で、その中でも南伊勢町(人口約1.4万人)は突出して罹患率の高い地域です。*R.tamurae* 感染症や SFTS もあります。この地域で開催するメリットを活かすために、地元猟友会の谷崎克與様、南伊勢町役場、三重県保健環境研究所の赤地重宏先生、SADIメンバーの藤田博己先生、矢野泰弘先生にお願いし、害獣付着マダニ採取、海ぼうず周辺でのマダニ採集、マダニ同定講座、マダニの解剖講座を組みました。

また、地域に根差した研究会としての特色を活かすために、10日午後に公開講座を計画しております。ここでは馬原文彦先生、夏秋優先生に記念講演をお願いするほか、長年くすぶり続ける問題である獣害とマダニ媒介感染症の関係についてシンポジウムを開催します。高田伸弘先生、田原研司先生、小林秀司先生にシンポジストをお願いしました。また地元で獣害対策をされる南伊勢町水産農林課の森本富由季様、元郵便局長で猟友会の谷崎克與様にも講演をお願いしました。さらに11日午前には実臨床で問題となるマダニ刺症への対応に関して、皮膚科の先生方を方中心としたシンポジウムを組みました。指針作成につながればよいと考えております。

SADI2017 の開催にあたっては、伊勢赤十字病院企画課、南伊勢町役場、町立南伊勢病院職員の他、公正取引法順守のもと、製薬メーカー、医療機器メーカー、ディーラーなど民間企業の方々、相賀浦区の住民、患者さんなど地元の皆様に協力を頂きました。海ぼうず講堂で、このような規模の研究会を開催するのは初のころみうえ、ほぼボランティア運営となります。多く至らぬ点があると予想しますが、手作りの研究会ですので広い心で笑い流してください。よろしく申し上げます。

※アメニティーに関しましてはプログラム②をご参照ください。

第 25 回 ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー
2017 伊勢・南伊勢大会
(25th Seminar on Acari-Diseases Interface 2016 in Ise・Minamiise)

ホスト 坂部茂俊 (伊勢赤十字病院 感染症内科・循環器内科)
会 期 2017 年 6 月 9 日(金)～6 月 11 日(日)
会 場 6 月 9 日 : 伊勢赤十字病院 1F 多目的ホール「やまだ」
(三重県伊勢市)
6 月 10、11 日 : 海ぼうず
(三重県度会郡南伊勢町相賀浦)
事務局 伊勢赤十字病院 事務部企画課
共催 南伊勢町
相賀浦区 (南伊勢町)
協力 南伊勢町観光協会

参加者・発表者の皆様へのご案内

1. 受付について

下記受付にて参加費等をお支払いの上、領収書・名札をお受け取りください。

- ・場所・時間 6 月 9 日 (金) 13:00～
伊勢赤十字病院 1F 多目的ホール「やまだ」
6 月 10 日(土)8:00～、6 月 11 日(日) 8:00～
海ぼうず 1 階玄関付近
- ・費用 参加費 : 一般 5,000 円
情報交換会費 : 3,000 円 (アルコール無 : 2,000 円)

2. 発表される方へ

①発表時間

- ・時間厳守をお願いします。
一般演題 : 質疑応答込みで 12 分間(発表 8 分, 質疑 4 分を目安とします。)

②発表に使用する機器等

- ・ Windows 7/Microsoft Office Power Point 2010 のパソコンを用意します。
- ・ Macintosh のパソコンも参加者のを拝借できるようなには致しますが Windows への互換性が確認できない方はパソコンをご持参ください。

- ・発表用データは USB メモリで持参し、受付時に発表用パソコンに移してください。
- ・ファイル名は「演題番号_名前(例 33_花田三重子)」にしてください。
- ・発表で使用したファイルは、学会終了後に消去します。
- ・個人のパソコンを使用される場合も、必ずスライド受付にお立ち寄りください。

会 場

① 伊勢赤十字病院



住所：〒516-8512三重県伊勢市船江一丁目 471 番 2 (伊勢市駅より徒歩 15 分)

電話番号：0596-28-2171 (代表) HP：<http://www.ise.jrc.or.jp/>

◆アクセス

【電 車】近鉄・JR 伊勢市駅にて下車、徒歩 15 分

伊勢市駅裏口（北口）よりシャトルバスが運行しております
（時刻表は上記 HP よりご確認ください）

【 車 】

《大阪方面より》

西名阪自動車道～名阪国道～伊勢自動車道で約 2 時間 30 分
（吹田 IC～松原 JCT～天理 IC～関 JC～伊勢 IC）

《京都方面より》

名神高速道路～新名神高速道路～伊勢自動車道で約 2 時間 30 分

(京都東 IC～草津 JCT～亀山 JCT～伊勢 IC)

《名古屋方面より》

東名阪自動車道～伊勢自動車道で約 2 時間

(名古屋西 IC～亀山 IC～関 JC～伊勢 IC)

⇒・伊勢自動車道 伊勢インターチェンジを津・松阪方面出口より国道 23 号線
(南西バイパス) に入る。

- ・小木町 1 交差点を左折し、県道 201 号線に入る
- ・船江交差点を右折し、約 500m 先の交差点を右折
- ・駐車場：病院駐車場をご使用ください。

② 海ぼうず

住所 〒516-0118 みえけんわたらいぐんみなみいせちようおうかうら 三重県度会郡南伊勢町相賀浦371-1

電話番号 0599-64-0010

◆アクセス

①宇治山田駅・伊勢市駅前より乗車の場合

宇治山田駅 1 番のりば (伊勢市駅 3 番のりば) : 三重交通 (三交) バス乗車
→ 「五ヶ所」下車 ⇒ 乗り換え : 町営バス→「相賀浦」下車

■普通片道運賃 大人:920円 小児:460円

■発着時刻表一覧 ※道路状況により遅れる場合がございます。予めご了承ください。

宇治山田駅前 → 五ヶ所

| 土 曜 | | | | | |
|-------|-------|----|-----|----|------|
| 発時刻 | 着時刻 | 経由 | 行き先 | 属性 | 経路情報 |
| 7:40 | 8:29 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 9:20 | 10:09 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 12:37 | 13:26 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 15:40 | 16:29 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 16:45 | 17:34 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 17:50 | 18:39 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 19:10 | 19:59 | | 五ヶ所 | | 経路 |

②志摩磯部駅 (磯部バスセンター) より乗車の場合

2 番のりば : 三重交通 (三交) バス乗車→「五ヶ所」下車
⇒乗り換え : 町営バス→「相賀浦」下車

■ 普通片道運賃 大人:500円 小児:250円

■ 発着時刻表一覧 ※道路状況により遅れる場合がございます。予めご了承ください。

磯部バスセンター → 五ヶ所

| 土 曜 | | | | | |
|-------|-------|----|------|----|------|
| 発時刻 | 着時刻 | 経由 | 行き先 | 属性 | 経路情報 |
| 7:44 | 8:04 | | 南勢野添 | | 経路 |
| 10:10 | 10:30 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 11:10 | 11:30 | | 五ヶ所 | 相 | 経路 |
| 13:07 | 13:27 | | 五ヶ所 | 坂 | 経路 |
| 14:34 | 14:54 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 15:10 | 15:30 | | 五ヶ所 | 迫 | 経路 |
| 16:14 | 16:34 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 17:14 | 17:34 | | 五ヶ所 | | 経路 |
| 18:20 | 18:40 | | 五ヶ所 | | 経路 |

坂・坂崎口経由
相五ヶ所で南勢町町営バス相賀浦行きにかわります。
迫五ヶ所で南勢町町営バス迫間浦行きにかわります。

※町営バス（五ヶ所→相賀浦）：所要時間約 60 分、片道運賃 300 円

※問い合わせ先:海ぼうず (0599-64-0010)・南伊勢町観光協会 (0599-66-1717)

※三重交通バス HP <http://www.sanco.co.jp/>

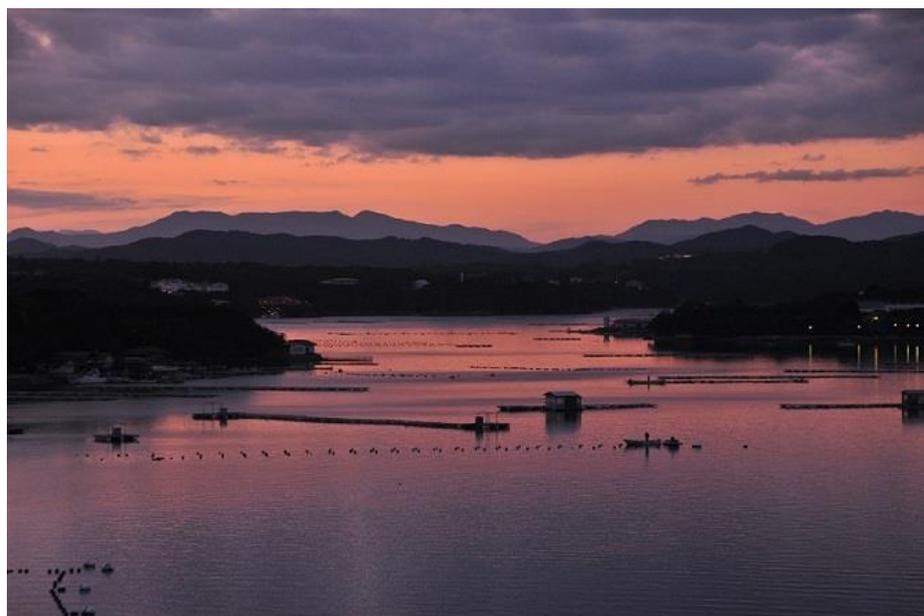
町営バス HP (時刻表内「相賀」が現在の「相賀浦」です)

http://www.town.minamiise.mie.jp/modules/pico/index.php?content_id=798



SADI2017 伊勢・南伊勢大会スケジュール

| | 6/9 | 6/10 | 6/11 |
|-------|---|---|--|
| 会場 | 伊勢赤十字病院 | 海ぼうず | 海ぼうず |
| 7:30 | | | 実習②マダニの採集 |
| 8:30 | | セッション3 8:30-9:50 休憩9:50-10:10 セッション4,5 10:10-12:50 | 実習③マダニの同定・解剖 8:30-9:30 |
| 10:00 | | | セッション6 休憩 10:20-10:40 シンポジウム②10:40-12:00 |
| 12:00 | | 休憩12:50-13:30 | 閉会 12:00-12:15 |
| 13:00 | 受付開始 | 公開講座 13:30-17:50 特別講演13:40-15:10 休憩15:10-15:30 シンポジウム① 15:30-17:50 実習①害獣調査・採集 13:40-15:20 | 迎車 13:00 |
| 14:00 | 開会 セッション1 休憩15:30-15:50 セッション2 | | |
| 16:00 | | | |
| 17:00 | 特別講演17:30終了 | | |
| 18:00 | 迎車18:00 移動(→南伊勢) | 情報交換会 18:10-20:20 | |
| 21:00 | | 迎車 21:00 | |



シンポジウム1 獣害とマダニ被害の関係

元・福井大学医学部/MFSS 高田 伸弘

野生動物は、大昔から、自然の樹林の中でときたま動きを見せて我々をはつとさせる愛すべきかつ保護すべき存在で来ました。しかし、彼らと地域住民が互いに接触頻度を増して来ると我々の生活に直に絡むようになりました。そして、シカ、イノシシ、タヌキまたアライグマなどは山野から都市内部まで拡散増殖が激しいのに加え、その毛被について回るダニ類が感染症をもたらすものだから、野生動物は遂に「衛生動物」の範疇に入れられつつあるのが現状でしょう。もちろん、彼らが徘徊する範囲では、農作物の食害、時に住民への危害まで問題になり、ひっくり返して「獣害」ということで、自治体は最も解決しにくい課題の一つとして悩むこととなります。なぜなら、彼らが無慈悲に防圧するのは自然環境保全の精神に反する一方で、野放図にしておくこともできず、第一、彼らをそうまでさせた遠因が人間側にもありそうだとさえいえるのです。

ただ、動物、ダニ類（特にマダニ）、そして保有する病原体の3要素がどれだけ絡み合っただけで地域にどのような害をなしているものか、また温暖化など気候変動に伴ってそれらがどれだけ拡散しているか、いえ、まだ灰色クマ、灰色イノシシ、灰色シカばかりでして、さらに調査研究を進めねばならないことは多いと言えます。

今年のSADIでは、坂部ホストの肝入り、呼びかけに応じて関連分野の研究者が訪れ、異色の「獣害シンポジウム」ということでお話いただけます。

・岡山理科大の小林先生は、増え過ぎて不幸になったシカが人間も不幸にしていると、

・島根県保環研の田原先生は、感染症に関わるシカを適正管理する道を開くべきと、

・そして高田はダニ媒介感染症の増加要因を改めて考えるべきと、これに加えて、地元関係各位のお声まで広く集めて議論（公開）できる場になっています。これは実にSADIこそその企画であり、楽しみです・・・まさか、シカやイノシシまでが顔を覗かせる？

シンポジウム 2 マダニ刺症の現状と対応に関する問題点

兵庫医科大学皮膚科学 夏秋 優

マダニが媒介する重要な感染症として重症熱性血小板減少症候群がクローズアップされたことをきっかけとして、マダニ刺症に関する世間の注目が集まっていることは確かだと思います。インターネットでも、マダニ刺症によって恐ろしい感染症になることがある、との記述が見られることから、これまでは山でマダニに刺されても、自分でむしり取って済ましていた人たちが、マダニを除去してもらうために医療機関を受診することになったのです。また、近年ではシカやイノシシなどの野生動物が増加し、人里付近にまで出没するようになっているために、それに伴ってマダニの分布も拡大しており、野外レジャーだけでなく、公園の散歩や庭仕事、畑仕事などの日常生活でもマダニに刺される機会が増えていると思われれます。

そんな状況の中、「マダニに刺されたら医療機関を受診しましょう」という文言が目につきます。しかし、実際に医療機関ではどのように対応すべきなのか、なんの指針もないのが現状であり、個々の医療者まかせになっています。そこで、マダニ刺症への対応について、ある程度のマニュアルを作成することは、意義のあることだと思います。そのためには、マダニの専門家が一堂に会する SADI の場で、専門家集団による意見交換や議論を経て問題点を整理した上で、ガイドライン作成の方向付けをしたいと考えます。

マダニ刺症の原因種の地域差や感染症のリスクに関する問題、除去方法の有効性の差、抗菌薬予防投与の是非、患者さんへの説明など、議論すべきことはたくさんあります。この機会に皆さんでしっかり議論しましょう。

マダニ採集、マダニ分類、唾液腺解剖実習について

三重県保健環境研究所 赤地 重宏

SADI の中で実習を取り入れるのもいいのではないかというご意見から、今回はマダニの形態学的同定をアカリ研究所の藤田先生に、マダニの唾液腺摘出を福井大学の矢野先生にお願いしました。今回はディスプレイ、スクリーン等を使い、その手順がなるべく皆さんに見えるように工夫したいと考えています。海ぼうず周辺にどのようなマダニが分布しているのかはわかりませんが、採集のご協力等もよろしくお願いいたします。

マダニの簡易同定につきましては山口大学の高野先生が「マダニ同定簡易マニュアル」としてまとめておられますので、そちらを参考にしつつ、実物と照らし合わせて見ていただくのもよろしいかと思えます。

時間は1時間程度と短めですが、参加される方々が充実した時間を過ごせますように準備したく思っておりますのでよろしくお願いいたします。

・マダニ採集道具につきましては、極力お持ち寄りいただければ幸いです。

(数セットは準備する予定です)

・時間の関係から、同定と剖検は並行して実施となるかと思えます。円滑な運営にご協力をお願いします。



【1日目 6月9日（金）】（会場：伊勢赤十字病院多目的ホール「やまだ」）

オープニングセッション 14:00～14:10

● 開会の挨拶 伊勢赤十字病院 院長 楠田 司

セッション1 14:10～15:30 座長 田原 研司

1. 島根県における日本紅斑熱及び SFTS 患者発生地域とマダニ採取状況について

○藤澤 直輝（島根県保健環境科学研究所ウイルス科研究員）

2. 病理標本にみるダニの姿

○堤 寛（はるひ呼吸器病院病理診断科（病理部長））

3. キチマダニ由来の新種ウイルスの解析

○木田 浩司（岡山県環境保健センター）

座長 小林 秀司

4. 日本産ズツキダニ類を求めて

○高田 歩（NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク）

5. カベアナタカラダニの系統地理学的研究-予報-

○島野 智之，蛭田 眞平，芝 実（法政大学）

コーヒーブレイク 15:30～15:40

セッション2 15:40～17:00 座長 藤田 博己・矢野 泰弘

6. 保護された野生動物等のダニ媒介性感染症に関する調査

○壁谷 昌彦（福島県野生生物共生センター）

7. 長崎県のイノシシにおけるマダニ媒介ウイルスの血清疫学調査
○早坂 大輔 (長崎大学熱帯医学研究所ウイルス学分野)
8. マダニ体内における病原体の存在様式から感染時期を推察する
○矢野 泰弘 (福井大学)
9. 和歌山県古座川町のアワコダニー紅斑熱群リケッチアとの関連ー
○藤田 信子 (アカリ研), 森田 裕司, 森田 貴久子 (古座川町国保 明
神診療所), 藤田 博己 (アカリ研, 静岡県立大学)

特別講演 1 17:00-17:30 座長 馬場 俊一 (ばば皮ふ科医院)

10. スピロヘータから垣間見たやぶにらみの医学史
○柳原 保武 (元静岡県立大学)

【2日目 6月10日(土)】

セッション 3 8:30~9:50

座長 豊嶋 弘一(伊勢赤十字病院)・岸本 壽男(岡山県保健環境センター)

11. 適切な抗生剤治療にもかかわらず中枢神経障害を生じ、血小板減少が遷延した日本紅斑熱の2例
○古崎 陽一 (伊勢赤十字病院)
12. 日本紅斑熱とツツガムシ病の疫学的・臨床的な比較
○山藤 栄一郎 (長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野)
13. 当院で経験した比較的稀なダニ媒介感染症の2例
○中川 十夢 (町立南伊勢病院)
14. SFTS 症例による体液曝露事故時のヒト-ヒト感染リスクの可能性
○田中 宏幸 (伊勢赤十字病院)

15. 意識障害をきたした重症熱性血小板減少症候群の2例

○川浪 翔大 (紀南病院・和歌山県)

コーヒーブレイク 9:50~10:10

地元紹介 10:10-10:30

座長 坂部 茂俊

16. 相賀浦について

○田中 保廣 (相賀浦区長・元外国船船長)

セッション 4 10:30-11:20

座長 島津 幸枝・木田 浩司

17. 北ベトナムの三次医療機関におけるツツガムシ病入院症例の病原体遺伝子および血清学的検査結果の検討

○加藤 隼悟 (長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野)

18. 大分県におけるマダニ媒介感染症発生状況及び病原体検索

○加藤 聖紀 (大分県衛生環境研究センター)

19. 2016年度福島県におけるマダニの病原体保有調査

○鈴木 理恵 (福島県衛生研究所)

20. 酪農学園大学野生動物医学センターでの外部寄生虫症例概要

○浅川 満彦 (酪農学園大学 獣医学群)

セッション 5 11:20-12:50

座長 夏秋 優・近藤 誠 (三重大学皮膚科)

21. マダニとアレルギー (牛肉と魚卵)

○和田 康夫 (赤穂市民病院皮膚科)

22. 神奈川県におけるマダニ類のアライグマ体表上の咬着の分布

○土井 寛大, 加藤 卓也, 羽山 伸一 (日本獣医生命科学大学)

23. 日本紅斑熱発病者とマダニ刺傷者の刺傷日における気象条件の比較
○和田 正文（上天草市立上天草総合病院診療部長兼内科部長）

24. 2015年、2016年の大分県のマダニ刺症
○安西 三郎（安西皮膚科）

座長 山藤 栄一郎・和田 正文

25. 日本紅斑熱と SFTS の血液学的比較
○宮崎 悠（伊勢赤十字病院）

26. ダニ類媒介感染症(つづが虫病, 日本紅斑熱及び SFTS)の検査診断における鑑別検査の重要性についてー広島県の検査実績からー
○島津 幸枝, 谷澤 由枝, 池田 周平, 高尾 信一（広島県立総合技術研究所保健環境センター）

27. ダニ媒介感染症における治療の文献的考察
○重見 博子（福井大学医学部）

休憩 12:50～13:30（一般参加者は～14:00）

● 公開講座開会の挨拶 南伊勢町長 小山 巧 13:30～13:40

特別講演 2 13:40～14:30 座長 宮崎 光一（町立南伊勢病院院長）

28. 「知ることがあなたを守る」
○馬原 文彦（馬原医院）

特別講演 3 14:30～15:10 座長 山添 尚久（町立南伊勢病院副院長）

29. 「マダニ刺症の予防対策」
○夏秋 優（兵庫医科大学 皮膚科）

30. 追加・屋外殺虫の限定的効果について

○高田 伸弘 (元・福井大学医学部)

コーヒープレイク 15:10～15:30

シンポジウム 1 獣害とマダニ被害の関係 15:30～17:50

座長 坂部 茂俊・赤地 重宏

コメンテーター 田原 研司・小林 秀司・高田 伸弘

31. 日本各地で増殖するニホンジカ社会の変容がもたらしたものー

○小林 秀司 (岡山理科大学)

32. 南伊勢町鳥獣被害防止対策実施隊の取組みについて

○森本 富由季 (南伊勢町水産農林課)

33. 私と獣

○谷崎 克與 (南伊勢町猟友会)

34. 三重県におけるダニ媒介性感染症発生状況

○赤地 重宏 (三重県保健環境研究所)

35. 伊勢保健所管内における日本紅斑熱の広がり

○鈴木 まき (伊勢保健所・所長)

36. 鳥羽市の有人離島に発生した日本紅斑熱ーイノシシ定住との関係

○石原 裕己 (伊勢赤十字病院)

37. 島根半島弥山山地における日本紅斑熱の発生とシカの生息数との関連性＋
ジビエ肉に潜む病原微生物

○田原 研司 (島根県保健環境科学研究所)

38. ダニ媒介感染症増加の要因を考える

○高田 伸弘 (元福井大学医学部)

実習①(13:40-15:20)

i 捕獲された動物のマダニ調査 ガイド 矢野 泰弘

ii マダニ採集ツアー① ガイド 藤田 博己

情報交換会（会場：海ぼうず 1 階および屋外）18:00～

【3 日目 6 月 11 日(日)】

実習② 7:30-8:30

マダニ採集ツアー②（海ぼうず玄関集合）

（会場：海ぼうず 3 階講堂）

実習③ 8:30～9:30 座長 赤地 重宏・高野 愛

i マダニ同定 指南：藤田 博己

ii マダニ解剖 講師：矢野 泰弘

セッション 6 9:30-10:20 座長 高田 伸弘

39. マダニの身体測定（形態同定への活用を目指して）

○門馬 直太（福島県食品生活衛生課）

40. 国内に潜在する回帰熱群ボレリア

○高野 愛（山口大学 共同獣医学部）

41. シュルツェマダニ（*Ixodes persulcatus*）の Rel/NF- κ B 様因子の同定

○伊藤 幸枝（山口大学 共同獣医学部）

コーヒーブレイク 10:20-10:40

シンポジウム 2 マダニ刺症の現状と対応に関する問題点 10:40～12:00

座長 水野 みどり・和田 康夫

コメンテーター 夏秋 優・矢野 泰弘

42. マダニ刺症診療ガイドライン：たたき台の提案

○夏秋 優（兵庫医科大学 皮膚科学）

43. 当院におけるマダニ刺症への対応

○水野 みどり（伊勢赤十字病院 皮膚科）

44. 流行地域にみるマダニ刺症に対する住民の意識調査

○金森 泰光（伊勢赤十字病院）

45. アナフィラキシーの観点からの咬着マダニについて

○森田 裕司（古座川町国保 明神診療所）

46. マダニ除去法の検討 ～Tick twist 法の有用性について～

○馬原 文彦（馬原医院）

47. TickTwister によるマダニ摘除法について

○和田 康夫（赤穂市民病院皮膚科）

クローズドセッション 12:00～12:15

ポスターセッション

- P1. 近畿地方、雪の丹後から陽光の紀南まで恙虫病ベクターを考える
○高田 伸弘 (元福井大学医学部)



プログラム中の写真は地元で活躍される写真家、泊正徳様にいただきました 10-11 日に写真展を開催していただきます。